

Vol.270

令和8年2月17日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

令和7年第4回定例会を開催しました

一般質問

15名の議員が3日間にわたり、
一般質問を行いました。

- 12月8日
下村 壽郎 / 奥谷 崇 / 古沢 喜幸
吉田 千鶴子 / 平石 勝司 / 矢口 勝雄
- 12月9日
福田 勝夫 / 根本 法子 / 平岡 房子
田中 義法 / 目黒 英一
海老原 一郎 / 滝田 賢治
- 12月10日
菅井 歩美 / 竹内 裕

令和7年第4回定例会は、12月2日から12月18日までの17日の会期で開催し、土浦市税条例の一部改正についてや、私立保育園運営事業費の計上などの令和7年度一般会計補正予算（第4回）など、土浦市長から提出された議案等の審議を行い、原案どおり可決しました。また、委員会から提出された委員会提出議案1件について、原案どおり可決しました。

目次

- 表紙 1
- 令和7年第4回定例会の結果 2
- TX土浦延伸調査特別委員会を設置しました 2
- 一般質問
下村壽郎・奥谷崇・古沢喜幸・吉田千鶴子 3
平石勝司・矢口勝雄・福田勝夫・根本法子 4
平岡房子・田中義法・目黒英一・海老原一郎 5
滝田賢治・菅井歩美・竹内裕 6
- 【特集】令和8年会派の主張「私たちはこの方針で活動します」 7～8
- 副議長就任あいさつ、議会内人事 8
- 令和8年第1回定例会（3月）の日程（予定） 8
- 編集後記 8

＜インターネットで市議会の様が見られます＞

土浦市のホームページから「土浦市議会事務局」→「本会議録画配信」を選択してください。

＜議会の会議録は次の施設で閲覧できます＞

- 土浦市立図書館 ○各中学校区の地区公民館
- 支所・出張所（都和・南・神立・新治・上大津）

※最新となる会議録（R7年第4回）は、2月下旬に閲覧が可能となります。



▶▶▶ 令和7年 第4回土浦市議会定例会 議案等議決結果 ▶▶▶

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果	議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	7.12.2	7.12.2	原案可決	議案第105号	土浦市ふれあいセンター「ながみね」の指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決
報告第32号	専決処分の報告について（和解について）	7.12.2	7.12.2	報告	議案第106号	土浦市荒川沖東部地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決
報告第33号	専決処分の報告について（和解について）	7.12.2	7.12.2	報告	議案第107号	土浦市荒川沖西部地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決
報告第34号	専決処分の報告について（和解について）	7.12.2	7.12.2	報告	議案第108号	市道の路線の認定について	7.12.2	7.12.18	原案可決
報告第35号	専決処分の報告について（和解について）	7.12.2	7.12.2	報告	議案第109号	市道の路線の変更について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第84号	土浦市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第110号	市道の路線の廃止について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第85号	土浦市税条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第111号	債権の放棄について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第86号	土浦市手数料条例及び土浦市建築基準条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第112号	債権の放棄について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第87号	土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第113号	債権の放棄について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第88号	土浦市火入れに関する条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第114号	債権の放棄について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第89号	土浦市中小企業振興資金融資あっせん条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第115号	債権の放棄について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第90号	土浦市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第116号	債権の放棄について	7.12.2	7.12.18	原案可決
議案第91号	土浦市火災予防条例の一部改正について	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第117号	土浦市職員の給与に関する条例等の一部改正について	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第92号	令和7年度土浦市一般会計補正予算（第4回）	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第118号	令和7年度土浦市一般会計補正予算（第5回）	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第93号	令和7年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第119号	令和7年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算（第4回）	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第94号	令和7年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第120号	令和7年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4回）	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第95号	令和7年度土浦市介護保険特別会計補正予算（第2回）	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第121号	令和7年度土浦市介護保険特別会計補正予算（第3回）	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第96号	令和7年度土浦市水道事業会計補正予算（第1回）	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第122号	令和7年度土浦市水道事業会計補正予算（第2回）	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第97号	令和7年度土浦市下水道事業会計補正予算（第1回）	7.12.2	7.12.18	原案可決	議案第123号	令和7年度土浦市下水道事業会計補正予算（第2回）	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第98号	土浦市市立地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決		土浦市議会副議長の選挙について	7.12.18	7.12.18	選挙
議案第99号	土浦市自転車駐車場の指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決		土浦市議会議会運営委員会委員の選任について	7.12.18	7.12.18	選任
議案第100号	土浦市社会福祉センターの指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決	委員会提出議案第4号	TX土浦延伸調査特別委員会の設置について	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第101号	土浦市新治総合福祉センターの指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決		TX土浦延伸調査特別委員会委員の選任について	7.12.18	7.12.18	選任
議案第102号	土浦市障害者自立支援センターの指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決	委員会提出議案第5号	医療機関の経営強化を踏まえた診療報酬改定等を求める意見書	7.12.18	7.12.18	原案可決
議案第103号	土浦市老人福祉センター「湖畔荘」の指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決		発言の取消しについて	7.12.18	7.12.18	許可
議案第104号	土浦市老人福祉センター「うらら」の指定管理者の指定について	7.12.2	7.12.18	原案可決		閉会中の事務調査について	7.12.18	7.12.18	原案可決

< 欠席議員 > 12月8日(月)海老原一郎議員、9日(火)勝田達也議員、10日(水)篠塚昌毅議員

令和7年第4回定例会休会中の常任委員会審査

- ◇12月10日(水) 予算決算委員会
- ◇12月11日(木) 文教厚生委員会・予算決算委員会文教厚生分科会
- ◇12月12日(金) 総務市民委員会・予算決算委員会総務市民分科会
産業建設委員会・予算決算委員会産業建設分科会
- ◇12月16日(火) 予算決算委員会

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
鈴木一彦	海老原一郎	吉田千鶴子	寺内充	竹内裕	奥谷崇	小坂博

TX土浦延伸調査特別委員会を設置しました

現在、茨城県では、つくばエクスプレス（TX）の県内延伸先を土浦駅と決定し、延伸構想の具体化に向けた検討が進められています。市民や経済団体等の声を受け、この機を逃すことなく、TX土浦延伸による効果等を調査した上で機運醸成を図り、早期実現を目指すために特別委員会を設置し、調査を行っています。

一般質問



下村 寿郎【一問一答】

動画は



こちらから

議会だよりでは紙面の都合上、一部の要旨を掲載しています。

Q1

子ども・子育て支援について

(1)保育所・認定こども園(保育・地域型保育事業(施設)の「入所申込みができる方」について、現状は保護者の状況により要件が設定されていますが、この要件の全てを撤廃し、保護者が子どもを産み育てる時期に、安心して子育てできる環境整備を推進してはいかがでしょうか。

Q1

置き配の普及促進について

(1)置き配に関するトラブルと実態把握について
①土浦市内において、置き配を巡る盗難・誤配・いたずら等の事案の発生状況を把握しているか伺います。
②市営・公営住宅や集合住宅で発生した具体的な数・内容・住民からの苦情等もあれば直近3年分でお示しください。



奥谷 崇【一括質問一括答弁】

動画は



こちらから

令和6年度は4件、令和7年度は1件で、玄関先に別人の荷物が届いていたという相談や、注文した覚えのない商品が置き配されていて業者の連絡先が分からないという相談が主なものでした。

Q1

人口増について

(1)人口増を目指す本気の施策を問う。
(2)全ての世代で、つくば市からの転入者数が転出者数を上回っている背景を問う。
(3)中規模住宅地開発について、工事中に全て売り切れている現状をどう分析するか。
(4)すでに10億円を投じた常名運動公園を民間に売却すべきと思うが、いかがか。



古沢 喜幸【一問一答】

動画は



こちらから

なども多く買物にも便利であること、つくば市中心部にも短時間でアクセスが可能であることから、つくば市に住むよりも住居費の負担を抑えつつ生活の利便性を確保できると考えております。

Q1

子ども・子育て支援について

(2)保育所・認定こども園・地域型保育施設、幼稚園などにおいては、幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上の児童の保育料は無償化となっていますが、国の制度上、給食費は保育料とは別の実費徴収として位置付けられ、現在、給食費の無償化は実施していません。保育所等における給食費の無償化は、子育て世帯の経済的な負担の軽減といったメリットが考えられる一方、財源を市独自で確保する必要がありますが、恒久的な支出となってくるため、現在の市の財政状況や優先すべき施策などを鑑み、慎重かつ多角的な検討が必要であると考えております。

A1【市長公室長】

(1)全国的に人口減少が進む中、本市においても将来的な人口減少が見込まれていることから、令和7年の3月に第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略を策定し、新婚世帯の生活を経済的に支援する結婚支援事業や市内小中学校、義務教育学校の給食費の無償化など、出生数減少の抑制や魅力あるまちづくりによる社会増の維持・拡大を目指す数々の施策を実施しています。今後とも、県の地方創生施策の動向に注視しながら、人口増加に効果的な施策を実施してまいります。

【市長】

(4)常名運動公園建設予定地内には未買収地が点在しており、就任した当初からこの課題を解決し、事業を何とか進めたいという思いで用地協力を得るための努力を続けていますが、残念ながらいまだ解決に至っていないのが現状です。常名運動公園は既に都市計画が決定されており、都市計画の考え方としては、それに代わる代替の施設がない場合には、都市計画の廃止は難しいということになっております。

Q1

子宮頸がん及びHPV関連がんの撲滅に向けて、お伺いします。

(1)HPVワクチンの女子定期接種の現状と対策について、お伺いします。
①令和8年度以降、定期接種全学年の未接種者に対して、毎年接種勧奨通知を行うことはどうでしょうか。
②令和6年第4回定例会における一般質問のその後の対応について、「HPV感染から児童生徒を守る出前講座の実施」について、お伺いします。
(2)男性HPVワクチン助成制度への9価ワクチン追加について、お伺いします。
①現在と同様に小学校6年生・高校1年生の男子が無料で9価ワクチンを接種できるように早期に事業変更を行うべきではないか、また、HPVワクチン接種(男女)の啓発ポスターやパネルを作成し、市役所や小中学校、図書館、各地区公民館等随所に掲示してはと考えます。



吉田 千鶴子【一括質問一括答弁】

動画は



こちらから

を認知していただけるメッセージを取り入れるなど、提供内容の充実に努めます。

②本年度はモデル事業として、令和8年2月に土浦第三中学校において、1年生とその保護者を対象とした市職員による出前講座を予定しており、実施状況や参加者の反応、学校現場からの評価などを踏まえて、出前講座の今後の在り方について検討します。

(2)諸外国の現状から9価ワクチンの有効性は認識していますが、いまだに日本では男性に対しては任意接種であるため、これからの対応については、きちんと接種状況を把握し、男性への接種の必要性、接種による効果などに不安を抱えている対象者などの声に寄り添い、国の定期接種化への動きなども注視しながら、個別通知やポスター掲示などの周知方法についても検討します。

A1【子ども未来部長】

(1)保育所等へ申込みができる方については、就労や妊娠・出産・保護者の疾病、親族の介護・求職活動などの保育要件を満たすことが保育所入所の申込みをするための条件となります。この保育要件については、保育所や認定こども園の利用に当たり、国の制度である子ども・子育て支援新制度に基づき、保護者の就労状況等によって保育の必要性を認定する仕組みが設けられており、全国共通の基準となっていることから、本市における入所申込みの際の保育要件の



A1【建設部長】

(1)本市における盗難被害を土浦警察署に確認したところ、置き配の盗難被害としての統計はありませんとの回答を受けました。また、土浦市消費生活センターに寄せられた置き配に関する相談は、令和5年度は3件、

A1【民生生活部長】

(3)①受取サービスが充実することで、宅配業者側は再配達率の抑制やドライバーの負担軽減、利用者側は盗難やいたずらなどに対する安全性の確保など、相応にメリットがあると考えています。しかし、現状でも多様な受取方法があり、市民がそれぞれの方法のメリット、デメリットを理解し正しく利用することで、更なる再配達率の減少やCO2排出量の抑制につながるかと考えています。本市としては、広報紙やホームページを活用し周知啓発に努めるほか、宅配業者からヒアリングを行い、本市で協力できるものについては対応してまいります。

A1【市長公室長】

(2)大きな要因として、本市の不動産価格がつくば市と比較して割安である点が挙げられます。また、JR常磐線の駅が3駅、常磐自動車道のインターチェンジも複数あるなど都心へのアクセスも良好であることや、市内に商業施設、スーパー

その他の質問

水道事業について

【市長】

令和7年3月策定「第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」について



その他の質問

令和7年3月策定「第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」について



平石 勝司
【一問一答】

Q1
キッチンカー事業者との災害協定について

(1)本市においても、キッチンカー事業者と災害協定を締結してはどうか。

A1【総務部長】

(1)キッチンカー事業者の方々との協力体制の構築は、本市としても大変心強くありがたいことですので、協定の締結については、事業者の方々との協力の下、積極的に検討してまいります。

Q2
消防団員確保へ向けた取組について

(1)消防団と学校との連携強化について

(2)今後のポンプ操法競技大会開催について、本市では、どのように考えますか。

A2【教育部長】

(1)児童が地元消防団所に行き、消防団活動や役割を直接見学し、資機材の使用方法や地域防災の重要性を学ぶことは、防災教育の充実につながり、児童の防災意識を高める上で有効な取組であると考えています。また、地元消防団をより身近に感じる機会になることが期待されますので、消防団所ツアーの開催に向けて、消防本部や学校と協議を進めてまいります。

【消防長】

(2)上位大会である茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が茨城県の方針により来年度から隔年開催へ移行することを

動画は



こちらから

ことを受け、本年11月に行われた消防団による会議において、本市の大会も上位大会の開催に合わせて隔年開催とする方針が団員総意の下、決定されました。今後については、隔年でポンプ操法の訓練に代わる実践的な訓練を計画することで、訓練回数の減少を補うとともに、消防団員の技術力向上と地域防災力の一層の充実を図ってまいります。

Q3
サイクリングと観光の連携強化について

(1)サイクリングと観光の連携強化を図った、土浦の魅力体験していただくイベントについて、どのように考えますか。

A3【産業経済部長】

(1)近年、桜のシーズン中には多くの観光客やサイクリストの方々が本市を訪れ、春だけの特別なサイクリングを楽しんでいます。市内には、従来から親しまれている観光スポット以外にもまだまだ隠れた名所もあり、多くの方が訪れる時期に新たな観光スポットを巡るサイクリングイベントを実施することは、本市の観光振興にとって非常に有効であると考えられます。現在、桜のシーズンに開催されるサイクリングイベントは、主に民間事業者主催の企画となっておりますが、今後は民間事業者の持つノウハウや活力を最大限に引き出しながら、連携を密にし、適切な支援を行ってまいります。そして、自転車の新たな価値の創出、観光資源のさらなる活性化を目指して、積極的に取り組んでまいります。



矢口 勝雄
【一問一答】

Q1
避難所における女性の環境課題及び運営並びに今後の訓練方法について

(1)避難所における女性の環境課題について

(2)避難所における女性の環境課題について

(3)避難所運営に女性の視点を取り入れるための女性職員や女性リーダーの確保について

A1【総務部長】

(1)本市の指定避難所である小中学校及び義務教育学校には、プライバシー保護のため、着替えや授乳の際に利用できる簡易ブースを備蓄しているほか、適宜学校の空き教室等を活用するなど、女性をばしめとして様々なニーズに配慮した避難所運営に努めることとしています。また、災害用段ボールベッド等を取り扱う事業者と社と災害協定を締結していることから、段ボール製品をパーテーションとして利用することも可能となっております。今後、プライバシー保護等に有用な物品の提供の申出をいただければ、積極的に災害協定を締結するなど、防災力の強化に努めてまいります。

Q1
不登校児童対策の現状と、今後の取組について

(1)土浦市での様々な取組と現状について伺います。

(2)スマホ・タブレット依存による不登校児童の増加について、睡眠障害などで体調不良になり、その異変に気が付かず、不登校になってしまうケースがあります。どのような対策を考えていますか。

(3)全国でも様々な取組が目立っており、その子に合った学びの場所を保障する考え方があります。どのように考えていますか。

A1【教育長】

(1)令和7年10月1日よりポプラひろばの組織体制を拡充し、土浦市教育支援センターとして新たに設置することにより不登校対策のセンター的機能を強化し、さらなる支援の充実に取り組んでいます。具体的には、教育相談員によるアウトリーチ型支援の充実を図り、従来の支援センターにおける児童生徒への直接的な支援に加えて、実際に学校を訪問して教職員の相談に応じたいです。将来的には、教育支援センターに臨床心理士やソーシャルワーカーなどの専門性の高い職員の配置や教育相談員の充実した研修などにより、一層、質の高い相談体制の構築を目指してまいります。

動画は



こちらから

強化に努めてまいります。

②女性専用のスペースの確保や、避難所の運営を担当する職員等により昼夜を問わず避難所内の巡回等を避難者の生活状況の把握と併せて実施していきたいと考えています。また、性犯罪の防止ばかりでなく、夜間における犯罪の防止等を目的に必要な箇所への照明器具の設置を検討するとともに、避難所生活が長期化する場合、避難者を中心とした暫定的な自治組織を結成し、夜間の巡回等をお願いするなども考えています。

③令和6年度から防災危機管理課に女性職員を配置することにも、災害発生時の避難所への直行職員や初期の避難所運営に女性も従事するなど、特に妊婦や女性特有の状況にある被災者にも安心して避難所へ避難していただける体制の構築に努めています。今後とも意見交換、連携をしながら、女性にもとより、性別にかかわらず地域への担い手となる人材の拡充を図ってまいります。

その他の質問

- ガソリンの暫定税率廃止に伴う本市財政への影響と対応について



福田 勝夫
【一括質問一括答弁】

Q1
不登校児童対策の現状と、今後の取組について

(1)土浦市での様々な取組と現状について伺います。

(2)スマホ・タブレット依存による不登校児童の増加について、睡眠障害などで体調不良になり、その異変に気が付かず、不登校になってしまうケースがあります。どのような対策を考えていますか。

(3)全国でも様々な取組が目立っており、その子に合った学びの場所を保障する考え方があります。どのように考えていますか。

A1【教育長】

(1)令和7年10月1日よりポプラひろばの組織体制を拡充し、土浦市教育支援センターとして新たに設置することにより不登校対策のセンター的機能を強化し、さらなる支援の充実に取り組んでいます。具体的には、教育相談員によるアウトリーチ型支援の充実を図り、従来の支援センターにおける児童生徒への直接的な支援に加えて、実際に学校を訪問して教職員の相談に応じたいです。将来的には、教育支援センターに臨床心理士やソーシャルワーカーなどの専門性の高い職員の配置や教育相談員の充実した研修などにより、一層、質の高い相談体制の構築を目指してまいります。

その他の質問

- 上下水道工事現場の民間技術者における対策について
- 小学校跡地を利用した街づくりについて
- 公共施設のトイレについて
- 霞ヶ浦ウナギ復活について
- 公共宿泊施設の再建について（国民宿舎水郷）

動画は



こちらから

児童生徒が正しくインターネットを利用することを目的として、外部講師を活用した情報モラル教室を開催しています。また、令和8年度に予定しているGIGAスクール端末更新の際には、使用時間の制限や好ましくない動画の閲覧を制限することができ、高機能のフィルタリングソフトの導入を検討しております。

(2)胃がん検診に対する内視鏡検査導入の要望内容について、どの程度把握されているのか伺う。

(3)内視鏡検査を導入する必要性について伺う。

①内視鏡検査を導入する場合、どのような課題があるか伺う。

A1【保健福祉部長】

(1)本市の胃がん検診は、40歳以上を対象に、バリウムによるX線検査を実施しており、受診方法は、市内の協力医療機関で受診する医療機関検診と保健センターや公民館などで受診する集団検診があります。令和5年度の実績では、受診者数は2354人、そのうち精密検査を受けられた方が80人、胃がんと診断された方が2人でした。



根本 法子
【一括質問一括答弁】

Q1
本市の胃がん検診における内視鏡検査導入について

(1)本市の胃がん検診の現状について伺う。

(2)胃がん検診に対する内視鏡検査導入の要望内容について、どの程度把握されているのか伺う。

(3)内視鏡検査を導入する必要性について伺う。

①内視鏡検査を導入する場合、どのような課題があるか伺う。

(1)本市の胃がん検診は、40歳以上を対象に、バリウムによるX線検査を実施しており、受診方法は、市内の協力医療機関で受診する医療機関検診と保健センターや公民館などで受診する集団検診があります。令和5年度の実績では、受診者数は2354人、そのうち精密検査を受けられた方が80人、胃がんと診断された方が2人でした。

(3)内視鏡検査は、エックス線検査に比べて検査の費用負担が大きくなります。また、医療機関には検診を希望する人数を受け入れられる体制が必要となることから、検査を実施する医師や医療機関の確保など、検診体制の整備が必要不可欠となります。市内の医療機関に検診受入れが可能かどうか、可能な場合の受診人数などについて医師会や推進されている医師と情報交換を行いつつ、導入に当たっての課題整理を行っており、引き続き検討を進めています。

動画は



こちらから

(2)胃がん検診における内視鏡検査導入については、土浦市医師会から令和6年度より要望をいただいています。また、市民の皆様からは、内視鏡検査に対する補助についてお問合せが年に数件ございます。

(2)胃がん検診における内視鏡検査導入については、土浦市医師会から令和6年度より要望をいただいています。また、市民の皆様からは、内視鏡検査に対する補助についてお問合せが年に数件ございます。

(2)胃がん検診における内視鏡検査導入については、土浦市医師会から令和6年度より要望をいただいています。また、市民の皆様からは、内視鏡検査に対する補助についてお問合せが年に数件ございます。





平岡 房子
【一括質問一括答弁】

Q1 のびのび子育てが育つ環境へつなげて

- (1) 全ての人々に開かれた図書館の在り方について伺う。
- (2) 公共のスポーツ施設の更衣室に、親子で利用できる家族用更衣室を増設するなど、全ての人々に配慮した対応について伺う。
- (3) 障害のある子どもが卒園まで安心して通える保育所(園)・幼稚園の在り方について伺う。

A1 〔教育部長〕

(1) 読み聞かせを行うお話の部屋を開放する件については、利用者の要望に応じて利用が可能であることから、小さなお子様や環境の変化に不安を抱えるお子様が大きな声を出してしまう場合でも、保護者の皆様が周囲を気にせず安心して過ごしていただけるよう、張り紙を掲示してお知らせするなど丁寧な案内を行い、利用を広げていきます。また、2階フロア全域を会話可能とすることについては、建物の構造上、吹き抜けになっている部分から3階の静かに閲覧するエリアへ声や音が届きやすく、静かな環境の維持が難しい状況にあることから、現状の運用を継続していきたいと考えております。

(2) 公共のスポーツ施設に家族用更衣室を設置するには、スペースの確保に加えて、建物の構造

動画は



こちらから



田中 義法
【一括質問一括答弁】

Q1 土浦市新消防署庁舎整備基本計画について

- (1) 土浦市新消防署庁舎整備基本計画について
- (2) 新消防署庁舎整備基本計画の今後のスケジュールについて伺います。

A1 〔消防長〕

(1) 本年度は庁舎の設計業務を進めており、設計業務については年度内完了を目指しています。庁舎の設計については、基本計画に基づき、庁舎面積を1400平方メートル程度、2階建てとし、訓練場等を活用することで、市民の皆様が自主防災訓練や救命講習、また、消防団員によるポンプ操法訓練、消防署と連携した消火訓練などに利用できる施設構想としており、より良い庁舎建設に取り組んでいます。なお、配置する車両は、消防車2台、救急車2台とし、特に救急車を2台運用することで、より安定した現場到着時間を確保してまいります。

(2) 来年度は建設工事の入札を行い、議会にて契約議決をいただいた後に着工を予定しております。新庁舎の完成時期は令和9年度末を目指しています。その後、既存の消防署からの移転作業を行い、運用開始は令和10年4月を予定しています。今後も市民サービスのさらなる向上を目指し、職員一人丸となって質の高い消防行政の構築に努めてまいります。

● 会計年度任用職員の待遇について

動画は



こちらから



日黒 英一
【一括質問一括答弁】

Q1 在留外国人の方たちが地域で安心して暮らしていくことができる環境づくりについて

- (1) 外国人の方の孤立や摩擦を防ぐための支援について
- (2) 外国人の方がワンストップで相談できる窓口や取組はあるのか伺いたします。

A1 〔市民生活部長〕

(1) ワンストップで相談できる窓口は設置していませんが、日本語が不得手な方が来庁した場合は、市民活動課が通訳として任用している会計年度任用職員が窓口での手続に同行し、サポートを行っています。通訳は英語、中国語、ポルトガル語の3言語を配置していますが、会計年度任用職員が不在時や、その他の言語での依頼があった場合は、31言語まで対応可能なタブレット型の多言語翻訳機を活用するなどし、外国人市民の方が安心して利用できる環境づくりと、言語の壁による窓口担当職員の負担軽減に努めてまいります。

(2) 本年度は10月13日のスポーツの日に、地域の企業団体や土浦市PTA連絡協議会など、多数の方々の協力を得て開催し、小学生を対象とした複数のスポーツ教室や、参加する世代を問わないミニスポーツ体験に加えて、トップアスリートのトークショーや、協賛企業の出展ブース、キッチンカーコーナーも設けて、どなたでも1日楽しんでいたいただけるイベントを行いました。スポーツフェスは行政と学校、地域、ご家庭が一体となって、部活動改革を支える重要な機会であると捉えています。今後も開催形態や内容等について精査・協議を重ねながら、本市における部活動地域展開を推進してまいります。

動画は



こちらから



海老原 一郎
【一括質問一括答弁】

Q1 J-COMスタジアム土浦の施設整備について

- (1) 外野グラウンドの芝生が傷んでおり、イレギュラーバウンドが発生し、試合結果にも影響が出ています。各種野球団体からもその整備の要望が出ています。外野のみならず、グラウンド全体を全面人工芝生化とすることについて、伺います。
- (2) バックネット裏スタンドの大屋根の設置について、伺います。

A1 〔教育長〕

(1) グラウンド全体を全面人工芝生化することにより、雨天による試合順延が減少することや、試合途中で急な雨に見舞われた場合にも、雨上がり後に速やかに試合再開が可能となり、使用率の更なる増加が期待されます。また、通常試合後に行っている専用機械によるグラウンド整備の手間がなくなることで、日中と夜間を分けた多目的な利用が可能になるほか、冬季クローズ期間が不要になり、年間を通して利用が可能になることから、野球以外のイベント等の活用も含め、大幅な利用の増加を見込めるものと考えています。さらには、野球だけでなく、ほかのスポーツやスコアボードを利用したパブリックビューイング、コンサート等の幅広いイベントにも利活用

(2) 屋根の設備がないスタジアムでの夏の期間の野球観戦については、関係者をはじめ、多くの観客の皆様方からも、観戦に行きたいけれども、暑過ぎて、熱中症が怖くて球場に行くことを躊躇うお声などの声や、屋根の設置について強く要望を受けています。近年、気候変動に拍車がかかり、猛暑、炎天下での観戦による熱中症のリスクが高くなっているほか、ゲリラ豪雨や落雷などの退避場所としての役割を果たす屋根の整備は、安全に観戦するために必要なものと考えており、現在の厳しい市の財政状況を踏まえて、優先順位を付けながら、引き続き検討してまいります。

● 会計年度任用職員の待遇について

動画は



こちらから



海老原 一郎
【一括質問一括答弁】

Q1 在留外国人の方たちが地域で安心して暮らしていくことができる環境づくりについて

- (1) 外国人の方の孤立や摩擦を防ぐための支援について
- (2) 外国人の方がワンストップで相談できる窓口や取組はあるのか伺いたします。

A1 〔市民生活部長〕

(1) ワンストップで相談できる窓口は設置していませんが、日本語が不得手な方が来庁した場合は、市民活動課が通訳として任用している会計年度任用職員が窓口での手続に同行し、サポートを行っています。通訳は英語、中国語、ポルトガル語の3言語を配置していますが、会計年度任用職員が不在時や、その他の言語での依頼があった場合は、31言語まで対応可能なタブレット型の多言語翻訳機を活用するなどし、外国人市民の方が安心して利用できる環境づくりと、言語の壁による窓口担当職員の負担軽減に努めてまいります。

(2) 本年度は10月13日のスポーツの日に、地域の企業団体や土浦市PTA連絡協議会など、多数の方々の協力を得て開催し、小学生を対象とした複数のスポーツ教室や、参加する世代を問わないミニスポーツ体験に加えて、トップアスリートのトークショーや、協賛企業の出展ブース、キッチンカーコーナーも設けて、どなたでも1日楽しんでいたいただけるイベントを行いました。スポーツフェスは行政と学校、地域、ご家庭が一体となって、部活動改革を支える重要な機会であると捉えています。今後も開催形態や内容等について精査・協議を重ねながら、本市における部活動地域展開を推進してまいります。

● 会計年度任用職員の待遇について





滝田 賢治
【一括質問一括答弁】

Q1 今後の財政運営と自主財源の確保について

(1)本市の今後の財政運営において、自主財源確保は極めて重要と考えるが、以下について伺います。
①過去5年間に於ける自主財源及び依存財源の割合の推移について伺います。
②本市における「適正な自主財源規模」の認識について伺います。

A1 市長公室長

(1)本市の過去5年の決算ベースでは、令和6年度が自主財源52%、依存財源48%、令和5年度が自主財源53%、依存財源47%、令和4年度が自主財源52%、依存財源48%、令和3年度が自主財源46%、依存財源54%、令和2年度が自主財源42%、依存財源58%となっており、直近の過去3年は、「コロナ禍からの市税収入の回復等により、比較的自主財源の割合が高い傾向となっております。

②適正な自主財源の規模には明確な規定がなく、各自治体の特殊事情に応じた必要とされる額が変わってくることから、適正な額を算出するのは大変困難です。ただし、一般的には、自主財源の割合が高いほど財政的に余裕・柔軟性があると言われており、令和6年度決算における自主財源の割合は県内で6番目に高い水準となっていることから、本市の自主財源の割合は標準以上の水準であるとも考えられます。一方、財政状況を分析、比較する指標で、数値が高く



動画は
こちらから

なると、財政構造の弾力性がなくなる恐れがある。経常収支比率は県内平均を上回っています。本市の財政は硬直化傾向にあることから、財政の自由度が高い自主財源の確保は、これまで以上に重要になっていくと考えております。

Q2 公共施設の使用料見直しと駐車場料金の在り方について

(1)本市の自主財源確保の観点から、公共施設の使用料見直しは重要であると考えています。そこで以下の点について伺います。
①市のサービスや公共施設の使用料等について、料金設定の基本的な考え方及び今後の見直しの方向性について伺います。

A2 市長公室長

(1)使用料・手数料等は、国・県などで定められているものや市の裁量により条例等で定めているものがありますが、市の裁量があるものに係る料金設定については、本市で策定した受益者負担の適正化に関する基本方針に基づき、市民生活における必要性や民間における代替性などの観点から公費負担の割合を判断することにも、他市の同様サービス等との均衡も図ることとしております。このような中、使用料等については、近年の長引く物価高騰等により施設運営経費やサービス提供に要する経費も増加していることを踏まえて、今後の財源確保策として適正であるのか、改めて見直しを実施しているところ



菅井 歩美
【一括質問一括答弁】

Q1 子育て支援政策について

(1)学校給食無償化について
①他自治体に先駆け無償化を行ったが、今後の継続は可能か、国の動向を含め、見解をお伺いします。
(2)熱中症対策について
①今夏の猛暑に対し、市内小中学校及び義務教育学校において、どのような対策を講じたのかお伺いします。
②今後の取組について

A1 教育部長

(1)給食の無償化については、現在、国において制度の詳細がまとめられている最中のため、現時点では具体的な情報が表示されていない状況にあります。本市としては、引き続き、地場産物を活用した特色ある質の高い給食の提供に取り組みとともに、子育て世帯の負担軽減となる学校給食無償化に向けて継続できるよう、茨城県と連携し国の動向や状況の把握に努めてまいります。

(2)①教育委員会においては、熱中症対策を、日頃の熱中症予防対策、熱中症の周知啓発、熱中症予防のための環境整備の三つの観点に整理し、毎年対策を実施しております。さらに今年の6月には記録的な高温が続いたことから、学校における熱中症対策の強化を図るため、児童生徒が持参した水筒の水の冷却や、直接体温を下げることも活用できる汎用性の高い水を各校に確実に常備するため、全ての学校に製氷機を設置しました。これらの対策により、今夏の猛暑下において体調不良の児童



動画は
こちらから

生徒が出て来ても大事に至ることはなく、児童生徒が安心して安全に学校生活を送ることができております。

(2)日頃の熱中症予防対策と熱中症の周知啓発については、熱中症予防に効果が出ていると考えていることから、引き続き対策を進めていきます。また、熱中症予防のための環境整備については、登校中や学校活動中に水筒の水を飲み干してしまふ児童生徒がいることを踏まえ、健康被害を未然に防げるよう、校内で冷たい水を補給できる給水機の設置について検討を進めてまいります。

Q2 ヒューナックアパーク水郷（水郷プール）について

(1)水郷プールを活用したイベントについて

A2 教育部長

(1)現在多くの子供たちにプールを利用していただけるよう、小学生以下の子供たちを対象にスタンプカードを配布し、3回目の来場でスタンプが3個たまると、次回の入場が無料になる特典を付与しており、スタンプをためて無料で利用されるリピーターの方も増えています。また、プール営業期間外を利用して、市民水泳大会の開催、パラカヌー体験教室の開催のほか、老朽化により使用できなくなった学校のプールの代替として、小学校のプール授業を行うなど、有効に活用されております。

その他の質問
イルミネーションについて



竹内 裕
【一括質問一括答弁】

Q1 教育行政をすすめる上で、問題になっている諸課題について

(1)教員志望者の減少に伴う「教員不足」及び「未補充」について伺います。
(2)令和6年度、文部科学省の「休職」「病気休暇」「懲戒処分」等の報告をふまえて、土浦市の状況について伺います。
(3)教育の立場を利用した卑劣な行為が相次ぎ、保護者の不安解消について、土浦市の対応について伺います。
(4)訪問型家庭教育支援にどのような対応をしているか伺います。

A1 教育部長

(1)今年度4月の段階で、産休取得者は20名、育児休業取得者は31名、休職者は3名、欠員は4名でしたが、4月時点において、臨時的任用職員の配置により、全て補充ができました。しかし、年度中途からの休暇取得者についても随時補充しておりますが、今年8月以降の補充については、現在7名分が未補充となっております。退職した元教職員を中心に、代替業務を引き受けていただけるよう、今後働きかけを丁寧に粘り強く続けてまいります。

(2)令和6年度に、一年以上の病欠休暇の承認を受けた教職員は20名で、うち16名が復職、4名が復職せずに休職となっております。また、休職している教職員が職場復帰をする際は、所属校における職場復帰訓練や職場復帰後の職場環境



動画は
こちらから

整備等のサポートをする「教職員復職支援プログラム」を実施しています。なお、本市においては、性犯罪・性暴力などによる懲戒処分や訓告を受けた教職員はおりませんが、引き続き教職員の服務規律の徹底を図ってまいります。
本市では、各学校において未然防止に努めており、コンプライアンスに関する研修をトップダウン形式だけでなくボトムアップ形式でも行い、教職員一人一人が自分事として捉えられるよう努めてまいります。日常的に風通しのよい職場環境を心がけ、相互に声をかけやすい環境づくりに取り組んでおります。また、全ての学校において不審なカメラ等が設置されていないことの総点検を本年7月に実施し、結果を保護者に文書で報告し、児童生徒や保護者の不安解消に努めてまいります。

その他の質問
地域おこし協力隊の考え方について

議会を傍聴しませんか？

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付（本庁舎4階傍聴席入口）で、住所・氏名等を記入して入場してください。みなさまのご来場をお待ちしております。

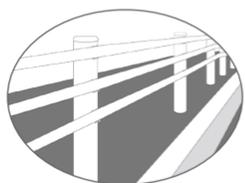


市議会ホームページ

市議会の情報が満載です。議会とは、という基本情報から議員の紹介まで、議会についての情報を幅広く掲載しています。



▲HPはこちら



請願

特集

令和8年 会派の主張

会派とは、議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のことです。

「私たちはこの方針で活動します」

令和8年の各会派の活動方針を紹介いたします。

※内容は、各会派から提出されたものを原文のままで掲載しております。表示順は会派に所属する議員数の降順で、会派に所属する議員は、会派代表者、期数の降順、年齢の降順で、丸数字は期数を表しています。

郁政会

- 海老原一郎 ⑥
- 篠塚昌毅 ⑤
- 小坂博子 ⑤
- 今野貴也 ③
- 勝田達雄 ③
- 矢口勝崇 ②
- 奥谷崇治 ②
- 滝田賢治 ①
- 柳澤健二 ①

郁政会は9名の議員で構成され、市政課題や財政状況の把握に努めるため、担当職員や有識者を招いた独自研修会を実施しています。

令和7年には、元土浦市副市長・瀧ヶ崎氏を講師に迎え、市政の歴史や主要事業について学習しました。また、茨城県児童相談所や土浦市給食センターを訪問する移動研修も行い、現場の課題把握と政策立案に活かしています。これらの活動内容は、令和8年3月発行予定の会報で詳しく報告いたします。

本年は、市民の皆様から寄せられたご意見や要望を基に、昨年度の45項目に新たな45項目を加え、合計90項目の政策提言を活動指針として取りまとめ、福祉向上と地域活性化に取り組んでいます。

主な提言内容は次のとおりです。

主な活動方針

1. 保有財産の有効活用やネーミングライツ、PFI、クラウドファンディング等による税外収入の確保
2. AI活用による行政効率化と外国人観光客の増加対策
3. 感震ブレイカーの設置に対する補助制度の創設
4. 増加傾向にある外国人に対する多言語表記による注意・案内看板等の設置及び町内会との連携強化
5. 保育士確保支援や子育て相談体制の充実、児童相談所との連携強化などの子育て・福祉分野の充実
6. 公共交通不便地域へのコミュニティ交通導入、自転車専用レーン整備促進、老朽街路灯の安全対策
7. 地区公民館の改修、消防職員体制の強化など、安全で暮らしやすいまちづくりへの取組
8. J・COMスタジアム土浦の人工芝生化学やバックネット裏スタンドの屋根の取り付け等、改修工事の早期実施

今後も市民の声を原点に、実効性ある政策実現を目指してまいります。

新勇会

- 島岡宏明 ③
- 鈴木一彦 ⑤
- 下村壽郎 ③
- 田中義法 ①
- 菅井歩美 ①

本市の財政状況は長期財政見通しで示されたとおり、非常に厳しい局面に立たされています。収入よりも支出が上回る見通しの中で、基金の取り崩しや市債の借り換え等、様々な工夫をしながら市政を運営しているところです。

そのような状況下で国からの補助金、交付金を活用し財源を確保していかなければなりません。市独自の取組としては、未利用の市有財産の処分・売却を積極的に進めるとともに、民間活力を導入し処分後に税収を生むような企業と提携することが必要です。また、地区計画を積極的に展開し、企業誘致を引き続き推進しなければなりません。その中で、電力の供給が必要となってきます。電力量の確保について、市は積極的に電力会社に要望を行い、条件整備を進めていかなければなりません。昨年度の会派要望に対しまして、市の財産売却の払い、区画整理・地区計画の推進、体育館の空調に早速取り組んでいただきありがとうございます。来年度の要望は以下のとおりです。

主な活動方針

1. 教育・子育て支援
 - ①ひとり親家庭への支援体制の充実
 - ②0～3歳児までの保育体制の強化
 - ③通年使用可能なプール新設
 - ④中学校の体育館へのエアコン設置
 - ⑤避難所となる学校への非常用電源の設置
2. 安全・安心のまちづくり
 - ①犯罪多発地区への防犯カメラの設置
 - ②自主防災組織の組織率の向上
 - ③空き家対策
 - ④相続人不明物件の取り扱い方針を決定すること
3. 建設部事業について
 - ①水道管の敷設替え・下水道の管更生工事の推進
4. 農業政策について
 - ①農業後継者の育成の推進
 - ②新規就農者に対する支援
 - ③スマート農業のできる環境整備

以上の要望に基づいて、新勇会は活動してまいります。

公明党 土浦市議団

- 平石勝司 ④
- 吉田千鶴子 ⑥
- 目黒英一 ②
- 根本法子 ①

私たち公明党土浦市議団は、物価高騰に対する支援をはじめ、子育て支援や防災減災対策、土浦の未来を大きく拓くためのTX土浦延伸（仮称）土浦スマートIC早期完成など155項目について、安藤市長に令和8年度予算要望書を提出しました。これからも多様性と包摂性のある社会の構築に向け、誰もが希望と安心を持つことができるよう、皆様からの小さな声を大事に取り組んでまいります。

主な活動方針

1. 物価高騰に対する支援
 - ①プレミアム商品券の発行など食料品の物価高騰の負担軽減
 - ②水道料金減免など生活者支援
 - ③中小企業・小規模事業者への支援
2. 子育て支援の充実
 - ①熱中症対策として、小中学校体育館へエアコン設置、給水型冷水機の設置
 - ②小中学校の給食費無償化の継続
3. 土浦の魅力アップへ向けた取組み
 - ①シティプロモーションの強化。移住・移住・二地域居住の促進
 - ②eスポーツイベントを活用した地域活性化
 - ③花火のまち土浦へ向けた取組み強化
 - ④日本一の土浦のれんこんのPR・拡大
 - ⑤霞ヶ浦総合公園へパークPFI等民間活力を導入し、人が集まる魅力ある空間づくり
4. 土浦の未来へ向けたまちづくり
 - ①つくばエクスプレス土浦延伸へ向けた取組み強化
 - ②（仮称）土浦スマートインターチェンジの早期完成
 - ③住民目線のDXで、行政のデジタル改革の推進
5. 誰一人取り残さないまちづくり
 - ①带状疱疹ワクチンの任意接種に向けて50歳から市独自の公費助成
 - ②外国人市民との共生社会の構築
 - ③障がい者の社会的障壁について、合理的配慮の周知と導入を図ること
 - ④防災先進都市土浦へ向け、いばらき防災大学の開催や地域防災サポーター拡充
 - ⑤交通弱者支援として、コミュニティバス導入の拡充・推進

日本共産党 土浦市議団

古 沢 喜 幸 ⑥
福 田 勝 夫 ①

人口増で希望ある明るい未来を！

本市は、将来の人口減少を想定し、令和37年度における施設総量（延床面積）を現在より30%削減するため、188の公共施設の統廃合を打ち出しています。ところが、最近の10年間で人口はほぼ横ばいです。常磐線の駅が存在している自治体で人口減少がみられないのは、茨城県内では土浦市だけであります。つまり、人口を増やす施策を前面に出し最大限の努力を尽くせば、希望ある明るい未来を実現できます。

乙戸地域の中規模の2カ所の住宅開発で工事中にすべての物件が売れられたという事実には確信を持ち、今後のまちづくりに生かすべきです。まず、市所有の不動産をすべて処分、加えて子育て支援をさらに充実させることが求められます。

主な活動方針

1. 常名運動公園建設用地の約20万㎡を住宅用地として民間に売却し、残りの5万㎡を観光農園や公園として活用することを求めます。
2. 東城寺地区の雄大な景観を土浦市の宝として位置づけ、地権者と情報を交換しながら市民が集える最低限の整備を求めます。
3. コミュニティバスについて、AIを活用するデマンド型運行に切り替え、運行地域の拡大と時間短縮を図り、市民が主役のコミュニティバスを求めます。
4. 茨城県南水道企業団と共同して過大な県水の責任引き取り量（使ってもいないのに払わされている水量）を減らし、水道料金値下げを求めます。
5. 10立方メートル未満の水道使用料金体系と同様、使用料ゼロでも10㎡の料金を徴収されている下水道使用料金の是正を求めます。

政新会

寺 内 充 裕 ⑦
内 内 充 裕 ⑧
寺 竹

土浦市は首都圏に近く自然環境・景観・歴史など魅力ある街だと思っています。この「地域の宝」を十分に活用して住んで良かった土浦市を創造するためには、持続的な財政基盤を確立しなければなりません。

- ① ふるさと納税制度の積極的な活用の中で返礼品等の支出を差し引いた諸費用の有効な利活用の検討。
 - ② 企業誘致を促進すべく新たな工場誘致用地を開拓して、雇用の拡大や各種税収の確保。
 - ③ ファイルムコミッションの推進によって地域関係の商業の底上げなども重要です。
- 令和8年度から令和10年度迄の3カ年事業は、どれもこれも将来の土浦市のために必要な事業です。市民の皆さまのご協力を得ながら、市執行部と市議会が連携して「夢のある、元気のある土浦」実現に向けて政新会は次の活動を中心に行動します。

主な活動方針

1. 中央立田線、県道土浦港線と市道I級18号線、荒川沖木田余線の早期4車線化を実現すること。
2. 中心市街地活性化は中央地区（私有地を含む）に商業・福祉等の複合施設の誘致・建設を実現するため、市長の決断を求めます。
3. 土浦学園線へスマートインターチェンジを地権者の協力を得て早期に具体化し実現すること。
4. 川口二丁目の水辺開発の推進。
5. 障がい者（児）福祉の先進的施策の強化推進。
6. 旧市役所をはじめ、統合・廃止となった公共施設も売却・貸付・再利用など具体的に進めること。
7. 債権管理の適正化と効率化を推進するため、「債権管理条例」制定をして滞納整理の充実を図ること。
8. ふるさと納税を活用したクラウドファンディング（CF）で旧国民宿舎「水郷」跡地に宿泊施設の建設を検討すること。
9. 市立図書館・ギャラリーの駅前文化施設と市街地活性化の連携計画の策定。
10. 防災体制の中で、電気・水道などのインフラ整備、食料、トイレ、避難所の確保などを常に点検・確認。また、防災サポーターなどの育成も必要です。
11. 市民要望の道路改良、整備の促進と各所の草刈りの早期実施。

副議長就任のごあいさつ



副議長
矢口 勝雄

このたび、議会のご推挙により副議長に就任いたしました。身の引き締まる思いとともに、その責任の重さを深く感じております。議長を補佐し、円滑で公正な議会運営に全力を尽くしてまいります。また、同時に就任致しました広報広聴委員長として、市民の皆様には議会をより身近に感じていただけるよう、分かりやすい情報発信と開かれた議会づくりに努めていく所存です。皆様に市議会への関心を寄せていただき、市政の動きを身近に感じていただけたら幸いです。

第4回定例会において、次のとおり各委員会が新しい体制になりました。

議会内人事

議会運営委員会の
委員が代わりました。

委 員 矢口 勝雄

委 員 滝田 賢治

文教厚生委員会の
副委員長が代わり
ました。

副委員長 鈴木 一彦

広報広聴委員会の
委員長・副委員長
が代わりました。

委員長 矢口 勝雄
副委員長 鈴木 一彦

次回定例会の主な予定

- 3月3日（火）本会議【招集日】
- 3月9日（月）本会議【代表質問・一般質問】
- 3月10日（火）本会議【代表質問・一般質問】
※午後1時30分から
- 3月11日（水）本会議【代表質問・一般質問】
- 3月24日（火）本会議【最終日】

編集後記

冬の名残が感じられる時期ではありますが、日差しの中に少しずつ春の気配が感じられるようになってまいりました。令和7年第4回定例会の内容を中心に届けます。今号では、議案審議の結果をはじめ、市政の課題に向き合った一般質問、そして各会派の主張を掲載しています。物価高騰や大規模災害などの発生、全国的な課題が地域の暮らしにも影響を及ぼす中、本市においても将来を見据えたまちづくりに向け、活発な議論が交わされました。議会だよりでは、こうした議会の動きをできるだけ分かりやすくお伝えし、市民の皆さまに関心を寄せていただける紙面づくりを心がけています。また、日々寄せられるご意見やご要望は、議会活動を進めるうえで大切な指針となっています。

今後も皆さまの声を丁寧に受け止め、より身近で親しみやすい情報発信に努めてまいります。寒暖差の大きい時期が続きますので、どうぞ体調に気をつけてお過ごしください。

（委員 目黒 英一）

広報広聴委員会

委員長	矢口 勝雄
副委員長	鈴木 一彦
委員	篠塚 昌毅
委員	平石 勝司
委員	下村 壽郎
委員	今野 貴子
委員	目黒 英一
委員	奥谷 崇
委員	田中 義法
委員	吉田 直起
委員	菅井 歩美

